

## 24 西伊豆歩道（廻り崎コース）

廻り崎コースは富士見遊歩道と接続している。

境内で4月初めには平成13年に登録された新品種の桜・イズサイフクジシダレ（伊豆最福寺枝下れ）が咲き、毎年花祭りが開催されている。

た秀和の顕彰碑もある。

口工の栽培が盛んなところで、冬場にはあたり一面アロエの花だけになる。

コールベルとめがね記念碑がある。めがねを覗いて富士山を見るのも面白い。

舗装された坂を上り若山牧水の歌碑を見送ると、右にコースの案内板がある。真っすぐ行けば恋人岬のバス停へ行く。ちょっとときつい丸太の段を上ると三等三角点のある大阜山。丸太の段から敷石・山道となり、ス停へ行く。

左に分岐を二つ見送ってウバメガシの林を丸太の段の上り下りを繰り返すと舗装道（市道）の終点に出る。休憩舎がある所から畠の中の道を上がり、再び舗装道に出たら右に上ればこのコースの終点・小峰のバス停。近くの民家に土肥桜の木がある。

マツやメダケが繁る尾根道が続く。左に舗装道（市道）を上り下りを繰り返すと舗装道（市道）の終点に出る。休憩舎がある所から畠の中の道を上がり、再び舗装道に出たら右に上ればこのコースの終点・小峰のバス停。近くの民家に土肥桜の木がある。

左に舗装道（市道）を行くと王肥桜の咲く花木園を経て恋人岬のバス停に上がれる。



▲イズサイフクジシダレ

修善寺駅から松崎行き、長八美術館行きのバスで1時間3分、小下田で下車。コースの入口は国道を少し行った右手に案内板がある所であるが、その前に最福寺へ寄っている。最福寺には先代住職が私財を投じて作った資料館・夢の実現堂（入館無料）があり、三舟（勝海舟・山岡鉄舟・高橋泥舟）や三名僧（一休・白隱・良寛）の墨跡、当地出身の開発者・長口宮吉の文献など、その他貴重な資料が展示されている。寺の入口には圓暮殿堂入りを果たし

コースの案内板から緩やかに簡易舗装された道を下る。段々になつたお墓と金比羅神社の前を抜けると、正面にキラキラと輝く海と廻り崎が望める。時折、鐘の音が風に乗って聞こえてくるのは、岬の先端で恋人たちが鳴らすラブコールベルである。小さな橋を渡ると端正な顔をした石仏（馬頭観音）が1体。左手に「おかる滝」と呼ばれる小さな滝が落ちている。

道なりに下り、大きくカーブした先の分岐を左に下る。この辺りアーチデッキにはラブコールベルとプロンズの「アモーレ」像があり、ひきりなしに訪れた恋人たちが鐘を鳴らしていく。ボードウォークを戻り、急な階段を上ると、途中にもう一つのラブ

ボードウォークを戻り、急な階段を上ると、途中にもう一つのラブ



▲恋入岬



▲ウバメガシの林

富士山を望む岬の先端で愛の鐘を鳴らし愛を確かめ合う恋人たちの魅力